

# 表紙は語る 表紙は語る



DG 9周年おめでとう!!!年は取るけどDGの年月が積み重なっていくのはとてもうれしい。10周年まであと少し。がんば。



## vol. 48 2008年初頭号

今年も表紙で一年を振り返る季節がやってきました。2008年初頭を飾って「DGのみなさんにGIFTを」ということでプレゼント仕様に。伊勢丹チェックがとってもかわいい、すんなり素敵にできた一枚（自画自賛）。表紙作りに100円ショップってすごく役立つ。ダイソーの地元進出を切望!

## vol. 49 3月標準号

この号は凝りました。このくらい手をかけるとやり遂げ感もあります。できたら毎号新しいアイデアでいきたいけれどなかなか降って湧いてこない。今温めていることは昔の表紙のリメイク。今の技術、紙質、もろもろでやったら全く新しいものになるんじゃないかと期待大。アイデア欠乏じゃなくてひとつの新しいチャレンジってことで。イエスウイキャン!

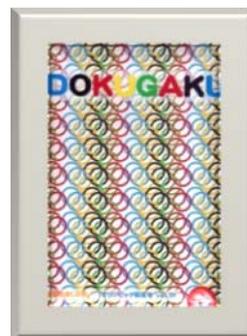


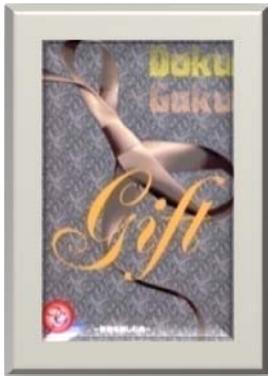
## vol. 50 50号到達記念号

DGのマークを見てください。ボールになっててギザガキス。これだけが新機軸?ま、いいじゃん。白を生かすことにもだいぶ飽きてきて黒とか濃い色でベタベタにやりたい欲望が湧いてきてます。伊勢丹チェックなんかはその欲望を少し満足させてくれましたけど。50冊ともなると表紙もマンネリ。過去の方がいいじゃんてことにもなる。ギザサシス。

## vol. 51 オリンピック記念号

さて、勝手にオリンピックを記念してみました。誰かさんが「まるでバネじゃん!」とおっしゃってましたが(まあバネだけ)こういう図案的なものはあんまり今までになかったかなと。アタシはね、悪くないと思ってるんですがあんまり巻の評判はよろしくないよーで。ここ最近締切過ぎてから(ごめんなさい)ダダダダッとしてるんでその辺の安易な気持ちが不思議と滲み出てきちゃうのかも。反省。慣れというのは恐ろしい。





### vol. 52 9月標準号

100円ショップで買ってきたリボンをあーやったりこーやったり。最初のアイデアはリボン→の中に絵を入れようというものだったんですけど。誰かさんからはDOKU-GAKUはいつから「GIFT」と名称変更したのかい、とお叱りを((+\_+))



### vol. 53 9周年記念号



今号の表紙はMr. Children「HANABI」から。HANABIのPV撮影地は東京は月島。一目見たときにとピンときた。PVを見たらここはどこだ？と反応するように心も体もできてきた！？



## ミスチル ばがぼんど



ということで、もちろん今回のばがぼんどはミスチルを追っかけて月島へ行ってきます！！

PVを見たことのある方も見たことのない方も、ま、とにかく桜井くんは川沿いの歩道をぷらぷらと歌いながら佃大橋から中央大橋に向かって歩いていくのです。

ここです



ここが中央大橋！

リバーシティ21

で、ここが佃大橋ね！



←後ろに見えるのが  
佃大橋。  
佃大橋に立って「あ、  
同じだ！」と感慨に耽  
るC a c c o隊員。↓

歩き続ける桜井くん。  
ん、これってなんだ??



この変なモノに注目して隅田川のたぐさんの  
橋の中からここが佃大橋であることを特  
定。追っかけて大変だ。根性だ。



PVだとまるで橋の  
上にあるように見え  
る。しかもトンネル  
にしか見えないっ。

ここってどうやら、元倉庫で今はスペイン料理店やスタジオ  
があるらしい。月島界限ではおしゃれな建物みたいです！→





まだまだ歩き続ける  
桜井くん。これって  
なんだろう？と思って  
たら・・・

船でした！



ここが中央大橋。  
この橋は特徴がある  
からすぐわかる。

切り取られた画面だけじゃわから  
ないことがいっぱい。常に真実  
の姿を追いかけるのがぼがぼん  
どの神髓\*^\_^\*  
それにしてもウォーターフロン  
トって絵になりますね。





←今号、表紙で使った公園。

リバーシティ 21 のビルの重なりを追いながら辿り着いたら、あまりに小っちゃい公園でびっくり！これただの空き地じゃん！！↓

PVでは  
趣のあるベンチに見える！



このお兄さん、ずっとひとりで素振りしてるんです(汗) わが息子を見ているようだったけれど、「あのおちょっと写真を撮りたいのですが・・・」と丁重にお願いしてやっと撮った一枚がこちら。

表紙とは人物が座っているベンチが違うことに気づいていただけたでしょうか？実は相談役が、左のベンチから右のベンチへ移動させました！技術があればなんでもできる！

さて、今月は最初に作った表紙があったのですが、どうも納得がいかない・・・で、作り直したのが現在の表紙です。せっかく作ったのでこちらも見てくださいか？  
毎回巻の評判はどうでも自分の納得するものにしたいと心掛けている表紙担当人。次号からまた10周年に向け表紙も進化して行く予定。暖かい眼差しで見守ってくださるとうれしいです。これからもよろしく(^O^)/

